

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年10月31日

議 会 議 長 様

議席番号 9 番

議員氏名 野 口 俊 彦

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 町長公約事業 の今後の取組は	先月執行された衆議院議員総選挙の結果により、残念ながら「窪田町長と国との力強いパイプ「生命線」が途切れてしまった。」と言っても過言ではない状況である。特に、公約のひとつである「中核病院を東武動物公園駅周辺に誘致」については、「本当に病院が誘致されるのか。」と、選挙後に数多くの町民の方々から疑問の声が出ており、町内に拡散している状況である。 私の令和6年9月議会の一般質問において、町長は「公約に掲げた4つの優先政策及び9つの課題についての本筋を見直す考えはなく、あくまで、事業の内容・手法等の修正をもって、公約事業の実現に向けて取り組んでいく。」と断言した。 そこで、改めて、窪田町長に掲げた4つの優先政策実現に向けての「覚悟」と、真の杉戸町のリーダーとしての「挑戦」について、以下伺う。 (1) 公約に掲げた4つの優先政策の進捗状況は。また、今後の取組方法に変化はあるのか。 (2) 特に、中核的病院誘致事業については、国との強いパイプが途切れてしまう状況となったが、問題はないのか。また、解決策はあるのか。 (3) 公約に掲げた4つの優先政策及び9つの課題について、事業の内容・手法等の修正を考えている事業はあるのか。改めて伺う。	町長 副町長 教育長 総合政策課長 健康支援課長 教育総務課長 担当課長

10月31日 午前・午後 8時30分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 少子化対策のさらなる取組は	令和5年6月議会における私の一般質問で、少子化対策の一環として結婚に伴って新生活をスタートする世帯を支援するため、こども家庭庁が実施している「結婚新生活支援事業」の導入を取り上げた。担当課の答弁では、本制度の実施における効果等について、調査研究を進めている状況であるとのことであった。質問してから1年半が経過しようとしているが、事業導入に係る進捗状況について、以下伺う。 (1) 結婚新生活支援事業を導入している県内自治体の状況及び効果は。 (2) 当町においては、現在、少子化対策として様々な事業を展開しているが、結婚してから子どもが生まれる以前の施策が少ないように感じている。町の見解は。 (3) 調査研究の成果として、結婚新生活支援事業制度を導入する考えは。	町長 副町長 総合政策課長 担当課長